



平成 25 年度秋季全国大会フォーラム講演論文募集

主 題：溶接構造物の安全・安心を支える実大実験

座 長：望月 正人（大阪大学）

伊木 聡（JFE スチール株）

日 時：平成 25 年 9 月 3 日（火）

場 所：岡山理科大学

趣 旨：

溶接構造物を設計・製作する際には、その安全性評価がきわめて重要であり、種々の手法によって安全性を担保した上で実用に供されています。今回の全国大会フォーラムでは、それらの安全性を評価する手法の中から、「実大実験」をテーマとし、平成 25 年度秋季大会において開催することを企画いたしました。

実大実験では、実際の構造物と同じスケールで安全性を確認することができ、ひいては実験結果が直接「安心」をアピールすることにも繋がることから、最近も多くの分野で実験が行われています。もちろん、近年の数値シミュレーション手法の進歩は、実験レスでの設計や施工を可能にしつつあることも事実ですが、一方で、特に、これまでの限界を超えるような溶接構造物の設計・施工に挑戦する場合には、安全・安心を実際に確認したいと言う声があることも事実であり、また、そのための実大実験を実施できる技術そのものも、日本のものづくりを支える「底力」である

とも言えます。

多くの分野からの実大実験に関する講演をプログラムすることにより、実大実験を支える基盤技術や、実大実験と数値シミュレーションとの比較などについての議論を深めることを企図しています。ご関心のある会員諸氏は、奮って応募いただけますようお願い申し上げます。

申込方法：

著者名、タイトル、概要（200 字程度）、所属、連絡先を明記し、メール（jws-ym@kt.rim.or.jp）またはファックス（03-5825-4331）にて溶接学会事務局へお申し込みください。

申込締切日：平成 25 年 3 月 18 日（月）

講演採否：直接申込者に連絡いたします。

原稿締切日：平成 25 年 7 月 1 日（月）

（採択された講演者には、所定の書式に従って作成した原稿を、締切日までに提出していただきます。提出いただいた原稿は、溶接学会全国大会講演概要 No.93 に掲載いたします。なお、講演時間は、1 件約 20 分～30 分程度を予定しています。原稿作成方法などの詳細は座長より連絡いたします。）